

特集

もうチェックした？

気象情報や雨量、河川水位などの情報は身近なツールで集めよう

災害発生時は、正確な情報収集が不可欠です。国・県・市ではさまざまな媒体を用いて情報が提供されています。

ホームページ

国土交通省
川の防災情報



http://www.river.go.jp/

気象庁 気象警報・注意報



http://www.jma.go.jp/jp/warn/f_1122200.html

メール配信サービス

越谷cityメール

災害情報だけでなくイベント情報など、配信内容を5種類から選べます。



https://citymail.city.koshigaya.saitama.jp/koshigaya/

*二次元コードを読み取ると登録サイトが表示されます。画面の指示に従って登録してください

埼玉県川の防災情報メール

選択した地域の河川氾濫注意情報や土砂災害警戒情報等が配信されます。



entry-saitama@bousai-mail.jp

*メールの宛先に上記アドレス(二次元コードからアドレスを読み取ることができます)を入力して「空メール」を送ってください

テレビデータ放送



データ放送は、テレビをご視聴中にリモコンのdボタンを押すことで、各種災害情報が確認できます。

○越谷市内水ハザードマップ
下水道(雨水)の排水能力を上回る降水が生じた際に、

詳しくは危機管理課へお問い合わせください。
紙媒体のもの、市役所(広報広聴課(本庁舎2階)、危機管理課(第二庁舎2階))や公共施設で配布しています。



○越谷市洪水ハザードマップ
河川が大雨によって氾濫した場合に想定される浸水状況や避難所、避難時の心得などの避難情報をまと

めています。
※いずれも各二次元コードから地図等をご覧いただけます

いざという時に慌てないために
ふだんからの準備が大切

情報収集をしたら
自宅の状況を確認
手元にハザードマップなどが用意できたら、次は自宅と周辺の状況を確認しましょう。

洪水・土砂災害、津波のリスク情報、道路防災情報など、地図や写真に自由に重ねて表示できます。



○国土交通省ハザードマップポータルサイト
洪水・土砂災害、津波のリスク情報、道路防災情報など、地図や写真に自由に重ねて表示できます。

排水施設の能力不足や河川の水位上昇によって雨水を排水できないために発生した浸水被害を、重ね図にまとめています。



書いて確認してみよう！

①ハザードマップで自宅が浸水するおそれが…
 ある→②へ ない→原則、自宅の最上階にとどまる

②自宅が浸水する場合、浸水深は………【 m未満】
 越谷市ハザードマップの色で確認(下図に色見本があります)
 *ハザードマップポータルサイトの着色と異なります

③浸水深(②で判定)と自宅の階層から取るべき避難行動を選択

想定される浸水深	自宅における居室の最上階		
	1階	2階	3階以上
5m~10m未満 (3階床上浸水)	避難所に行く(※)		
3m~5m未満 (2階床上浸水)	避難所に行く(※)		
0.5m~3m未満 (1階床上浸水)	家に居る。 家の中でも高い階に行く		
0.5m未満 (1階床下浸水)	家に居る。 家の中でも高い階に行く		

※遠方の親戚・知人宅や市外への避難も可

浸水の目安
 想定される浸水の深さ

5.0m以上の区域
2.0~5.0m未満の区域
1.0~2.0m未満の区域
0.5~1.0m未満の区域
0~0.5m未満の区域

越谷市洪水ハザードマップ(現在更新中)での着色例。ハザードマップポータルサイトとは異なります

どうなの? どうする?

特集

水害対策と新しい生活様式

近年頻発する気象災害に加え、令和2年(2020年)は、新型コロナウイルス感染症と自然災害が重なる「複合災害」を見据えた災害対策を始める年となりました。

今号では、“ウィズコロナ”で変わる災害への備えなどを紹介します。

〈問合せ〉 危機管理課(第二庁舎2階) ☎963-9285

本市は元荒川、新方川、大落古利根川、中川、綾瀬川の5本の一級河川が流れ、またこれらに流入する多くの中小河川があり、古くから「水郷こしがや」といわれるように、水の豊かな地域として発展してきました。

一方で、近年都市部を中心として集中豪雨が多発する傾向にあり、それに伴う浸水被害が各地で発生していることから、ポンプの設置や調整池の整備などの治水対策にも常に力を入れています。

令和2年7月豪雨では、熊本県を中心に、九州や中部地方など日本各地に甚大な被害を及ぼしました。気象庁によると、7月上旬に全国のアメダスで観測した降水量の総和は「平成最悪の水害」といわれた「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」の同時期を超えています。関東では、6月~7月の梅雨の時期よりも、台風が多く発生する9月~10月に降水量が多い傾向にあります。梅雨が明けたからといって油断は禁物で、台風等大雨による甚大な被害が発生することがあるため、日頃からの備えが重要です。

市内に大きな被害を及ぼした気象災害と治水事業

市内に大きな被害を及ぼした気象災害

名称	雨量(mm)		浸水被害(戸)	
	総雨量	時間最大	床上	床下
S 22 (9月)カスリーン台風	338	50.2	—	—
S 57 (9月)台風18号	230	32	3,610	3,869
S 61 (8月)台風10号	229	42	1,835	3,485
H 3 (9月)台風18号	228	24	1,207	4,502
H 5 (8月)台風11号	224	24	198	2,904
H 16 (10月)台風22号	220	21.5	32	479
H 25 (10月)台風26号	217	35	71	530
H 27 (9月)台風18号(関東・東北豪雨)	402	53	473	2,016
R 1 (9月)台風19号	234.5	34.5	28	300



移動式排水ポンプ(平成29年設置)

主な治水事業(事業主体:市…(市)、国の事業…(国)、県の事業…(県))	
(市)越谷第一ポンプ場供用開始	S56
(県)新方川河川激甚災害特別緊急事業の採択	S57
(市)市内小・中学校の流域貯留浸透事業着手(~H20)	S60
(国)綾瀬川河川激甚災害対策特別緊急事業に採択 (県)新方川河川激甚災害対策特別緊急事業に採択	S61
(市)御料堀ポンプ場、大間野排水機場、北越谷一丁目排水機場供用開始	S63
(市)新川排水機場供用開始、(県)大吉調節池完成	H3
(県)七左エ門川排水機場、(市)出羽堀ポンプ場供用開始	H4
(県)平新川排水機場供用開始	H5
(県)大成川排水機場供用開始	H6
(市)千間台第一ポンプ場(雨水)供用開始	H9
(国)綾瀬川放水路・八潮排水機場増強	H10
(国)首都圏外郭放水路完成(H14~H18)	H18
(市)東町ポンプ場供用開始	H24
(市)出羽堀かさ上げ工事(~H28)	H26
(県)新方川浸水被害緊急対策事業 (市)平新川かさ上げ工事	H28
(市)移動式排水ポンプ3台設置	H29



昭和61年10月 台風10号による被害の様子

いざ避難...

あれ？ どのタイミングで？
どこに逃げればいいのか？

12ページで確認した自宅が安全かどうかの情報を基に、「避難行動判定フロー」であなたとあなたの家族がとるべき行動を考えましょう。

スタート

自宅の最上階の床の高さよりも、ハザードマップの浸水深が「浅い」「深い」ハザードマップをもう一度確認したい場合はこちら→
ハザードマップポータルサイト



浅い

在宅避難

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地にお住まいの方は、避難情報を参考に必要に応じて避難



深い

すでに雨風が強い

はい

垂直避難

〈戸建ての場合〉
近隣のできるだけ高い建物へ避難
〈マンションなどの場合〉
高層階が浸水しない想定であれば高層階へ避難。建物全体の浸水が想定される場合は、近隣のできるだけ高い建物へ避難



いいえ

自分自身や一緒に避難する人の中に高齢者や障がい者、乳幼児など避難に時間がかかる人がいる

いいえ

はい

警戒レベル3で避難を開始

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる

はい

安全な親戚や知人宅へ避難（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

避難所・避難場所へ避難

市ホームページ「指定緊急避難場所・指定避難所」



いいえ

警戒レベル4で避難を開始

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる

はい

安全な親戚や知人宅へ避難（日頃から相談しておきましょう）

5段階の「警戒レベル」で出される避難情報を覚えておこう

危険度	警戒レベル	避難情報など	避難行動（とるべき行動）
大	5 〈市が発令〉	災害発生情報	災害が発生しています 命を守るための最善の行動をとります
	4 〈市が発令〉	避難指示（緊急） 避難勧告	速やかに避難しましょう。避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう
	3 〈市が発令〉	避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう
	2 〈気象庁が発令〉	大雨注意報 洪水注意報	避難に備えて、ハザードマップ等で、自分たちの避難行動を確認しましょう
	1 〈気象庁が発令〉	早期注意情報	大雨警報などが発表される可能性があります。災害への心構えを高めましょう

* 今後、警戒レベルが変わる場合があります

「自らの命は自らが守る」意識をもって適切な避難行動を

ここまでは、事前に災害に備える重要性や、ひとりで避難といってもさまざまな行動があることを紹介しました。

新型コロナウイルス感染症が終息しない中では、避難所での集団生活による感染症拡大のリスクを回避するために、安全であるならば自宅にとどまる“在宅避難”も有効な避難行動の一つです。在宅避難には感染症の回避だけでなく、プライバシーの確保や、それに伴うストレスの軽減というメリットもあります。

とはいえ、危険な場所にいる人は避難することが原則です。避難行動をとるうえで「**知っておくべき5つのポイント**」を家族や知人と確認しておきましょう。

知っておくべき5つのポイント



①安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません

新生活様式ポイント!

②安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう

③マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ持参してください

新生活様式ポイント!



④市が指定する避難所、避難場所が変更・増設する可能性があります。平常時から市ホームページ等で確認しておきましょう。災害時には、すべての避難所が同時に開設されるわけではありません。避難を開始する前に、まずは今この避難所が開設されているかをテレビやインターネットで確認しましょう



⑤豪雨時の屋外の移動は車も含めて危険です。また、やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください



避難所に行くことだけが避難ではありません

見ず知らずの方々と避難所で共同生活を送ることは心身ともに負担を伴います。また、避難所での3密（密閉・密集・密接）を避ける感染症対策としても、自宅が安全が確保できるのであれば、住み慣れた自宅にとどまる**在宅避難は有効な避難行動の一つ**です。

なお、河川が決壊した場合、浸水が引くまでにある程度の時間を要することから、在宅避難が中長期化することによって、日ごろから水・食料、生活用品のほか、簡易トイレなど家庭での備蓄を進めましょう。

特集

災害はいつやってくるかわからないもの。だから事前にしっかりと準備しておくのは難しいという人も多いはず。でも、いつもの生活に工夫するだけならどうでしょう。使いながら蓄える「ローリングストック」という方法があります。普段使っているものを常に少し多めに備えておく取り組みです。古いものから使って、使った分を買えばいいので、すぐに始めることができます。

脱水症状、体力・免疫力の低下
トイレに行くことをがまんすることは危険です。行きたいときに行ける、安心して用を足せるトイレ環境を準備しておきましょう。

●自宅でのトイレ対策
携帯トイレを使う
災害時、感染症対策としても、自宅で生活できるなら自宅のトイレが一番安心して使うことができます。しかし、「水が出ない」、「トイレの水が流せない」という状況になる場合があります。どちらの場合でも、トイレ空間が安全で便器が使用可能であれば、携帯トイレを使いましょう。

新生活様式ポイント!
① 用を足し、汚物を固める
固める方法は製品によって異なります。

② 吸収シートタイプ・凝固シートで固める



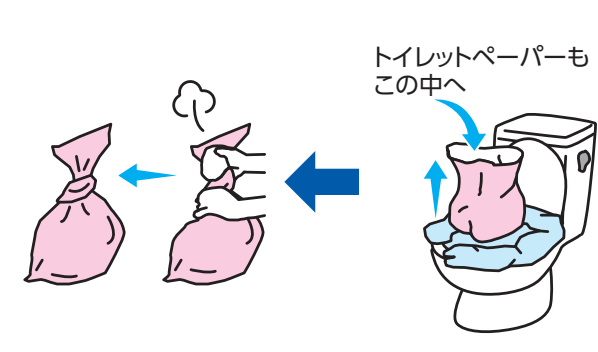
排泄後、携帯トイレだけ交換すれば、底面に水がつかず床が汚れません

●携帯トイレの使い方
*製品の取扱説明書をよく確認しましょう。
① 便器にポリ袋をかぶせた後にその上から携帯トイレ(便袋)を設置

③ 携帯トイレだけ取り出し、空気を抜いて口を強くしぼる
④ 密閉できる容器で収集まで保管する
ふた付きのゴミバケツや汚物処理専用の保管袋などを使用しましょう。使用済み便袋は、燃えるゴミとして出すことができます。



③ 携帯トイレだけ取り出し、空気を抜いて口を強くしぼる



④ 密閉できる容器で収集まで保管する

忘れていないつもりでも...被災時の意外な落とし穴

●トイレをがまんしないことが大切

●災害時に陥りやすい状況
トイレをがまんする

飲むこと・食べることをがまんする

脱水症状、体力・免疫力の低下

トイレに行くことをがまんすることは危険です。行きたいときに行ける、安心して用を足せるトイレ環境を準備しておきましょう。

どうなの? どうする? 水害対策と新しい生活様式

準備はOK? 無理なく無駄なく備える、のじろ

1 食品・飲料

以前は最低3日分と言われていた備蓄食材ですが、支援物資がすぐに届くとは限らないため、1週間分、さらにはその先を見据えた備蓄が必要です。

- レトルト食品、インスタント食品等
- 非常食品(ドライフード等)
- 飲料水(1日1人3リット目安)
- 粉ミルク、ベビーフード等



非常時でも取り出しやすい場所に保管しましょう

2 生活用品

- ゴミ袋(黒色のものもあると便利)
- 卓上コンロ、ガスボンベ
- 布製ガムテープ
- 新聞紙、ビニールシート等
- ポリ容器、バケツ
- 携帯電話の充電機



キッチン用ラップは止血や皿の汚れ防止など、布製ガムテープも止血やガラスの補強など多くの使いみちがあります

3 衛生用品

- トイレットペーパー、ティッシュペーパー
- 体温計、マスク
- ウエットティッシュ
- せっけん、消毒液等
- 携帯トイレ



使い慣れたものを使うことで非常時のストレスが軽減されます



トイレットペーパーやティッシュペーパーは買いやすいときに一つ多めに買いましょう

非常持ち出し袋の用意も忘れずに
避難する際の最小限の必需品をリュックサックなど持ちやすい状態で準備しておきましょう。

衛生用品
マスク、体温計、消毒液

避難用具
懐中電灯、携帯ラジオなど

応急薬品・持病の薬
鎮痛剤、せき・のど、かぜ薬

生活用品・食料など
着替え、タオル、栄養補助食品、飲料水など



重さの目安は...

女性 10kg

男性 15kg



平井克明危機管理課長(防災士)

本市は、古くから水郷こしがやと呼ばれ、水の豊かな地域として発展してきました。

一方で、台風や大雨に見舞われると、河川氾濫や浸水被害などの自然災害が発生する可能性があります。

防災は「自らの命は自らを守る」という意識を持つことが大切です。情報収集方法や避難行動のポイントをぜひもう一度確認してください。

現在のコロナ禍において、市では災害時に備え避難所における感染防止対策を進めています。皆さんには防災情報を入手し、災害リスクをご確認いただき、安全が確保できる場合には、ご自宅



越谷市防災アプリ

何ができるの?

- ハザードマップの閲覧
 - 指定避難所の位置表示、現在地から避難所の方向や距離の確認
 - 市防災行政無線の放送内容の確認
 - ほかに、気象情報や安否情報の登録機能など、防災に役立つ機能が搭載されます
- * 配信が決まりましたら、広報こしがやお知らせ版などでお知らせします

〈問合せ〉 危機管理課 ☎963-9285

等に留まる「在宅避難」に備えて、ご家庭での必要な備蓄を進めていただければ幸いです。

また、避難に配慮が必要な方を地域で支えるため「越谷市災害時要援護者避難支援制度」を運用していきますので、避難等に不安がある方は、ご活用ください。

災害時には、ご近所同士での助け合いが頼りになります。日頃からお付き合いを大切に、顔の見える地域のつながりを作ってくださいますようお願いいたします。